

アスファルト混合物配合設計報告書

混合物：密粒度アスコン（13）改質Ⅱ型（ECOフォーム）

2025年 2月

鳥取アスコン 株式会社

アスファルト混合物配合設計総括表

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 密粒度アスコン(13)改質Ⅱ型(ECOフォームト)

試験者 大西 康夫

1. 使用材料の種類及び産地

材料の種類	製造会社名	産地	材質
碎石6号	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
碎石7号	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
砕砂	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
粗砂	住若海運株式会社	佐賀県唐津市	天然砂
細砂	有限会社仁徳砂利	鳥取市伏野	天然砂
石粉	足立石灰工業株式会社	岡山県新見市足立	石灰岩粉末
ポリマー改質アスファルトⅡ型	日進化成株式会社	岡山県玉野市玉原	改質Ⅱ型

2. 使用骨材の配合割合

材料	碎石6号	碎石7号	砕砂	粗砂	細砂	石粉						計
配合割合%	34.0	19.0	20.0	10.0	12.0	5.0						100.0

3. 合成粒度

ふるい目	53mm	37.5	31.5	26.5	19	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600μm	300	150	75
通過質量百分率%					100.0	99.6		66.8	46.5		27.5	18.8	7.9	6.4
粒度範囲	上限				100	100		70	50		30	21	16	8
	下限				100	95		55	35		18	10	6	4

4. 設計アスファルト量の決定

試験項目	最適AS量	密度	理論密度	空隙率	飽和度	安定度	フロー	残留安定度
	(%)	(g/cm ³)	(g/cm ³)	(%)	(%)	(kN)	($\frac{1}{100}$ cm)	(%)
試験値	5.6	2.379	2.480	4.1	75.9	11.16	35	90.0
基準値	上限	7.0	—	6	85	—	40	—
	下限	5.0	—	3	70	4.90以上	20	75.0以上

※ マーシャル試験の結果はグラフより求めた値である

骨材粒度設計（修正後）

目的配合設計（室內）

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 密粒度アスコン (13) 改質Ⅱ型(E C O フォームト[®])

試 験 者 大西 康夫

3. 使用予定骨材の合成粒度 修正後

骨 材		碎石6 号	碎石7 号	碎石	粗砂	細砂	石粉		
配 合 率 A %		34.0	19.0	20.0	10.0	12.0	5.0		
通 過 質 量 百 分 率 B %	53 mm								
	37.5								
	31.5								
	26.5								
	19	100.0							
	13.2	98.9	100.0		100.0				
	9.5								
	4.75	5.2	95.1	100.0	99.4				
	2.36		12.0	92.2	88.1	100.0			
	1.18								
	600 μm			35.5	35.2	99.0			
	300			20.2	12.3	71.6	100.0		
	150			11.1	2.8	4.1	98.1		
75			9.1	1.0	1.1	88.4			

各骨材のふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B)								合 成	目 標
53 mm									
37.5									
31.5									
26.5									
19	34.0							100.0	100.0
13.2	33.6	19.0		10.0				99.6	97.5
9.5									
4.75	1.8	18.1	20.0	9.9				66.8	62.5
2.36		2.3	18.4	8.8	12.0			46.5	42.5
1.18									
600 μm			7.1	3.5	11.9			27.5	24.0
300			4.0	1.2	8.6	5.0		18.8	15.5
150			2.2	0.3	0.5	4.9		7.9	11.0
75			1.8	0.1	0.1	4.4		6.4	6.0

4. 骨材の密度による配合率の補正

[illegible]

骨材の粒径加積曲線図

目的 配合設計（室内）

試験年月日 2025年 2月14日

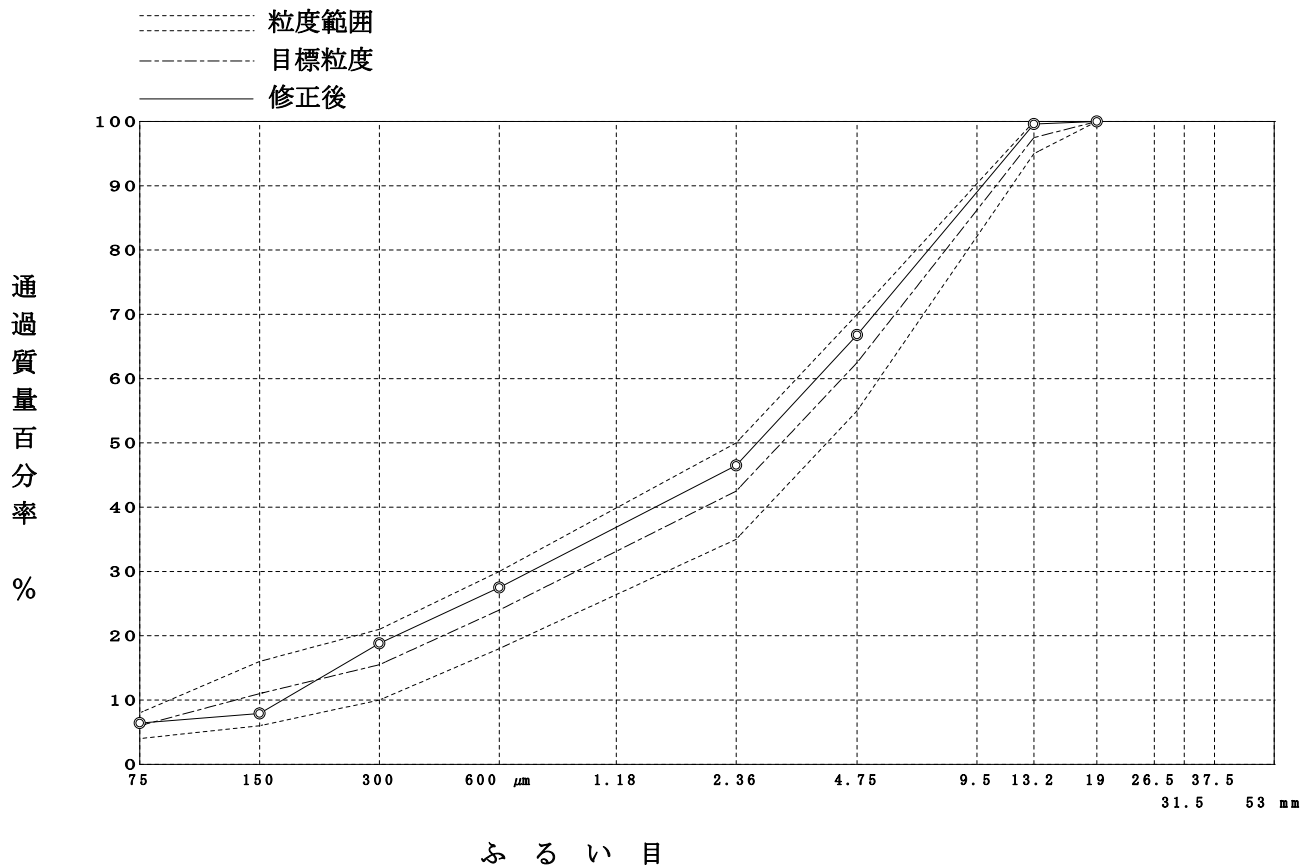
混合物の種類 密粒度アスコン（13）改質Ⅱ型（EC0フォームト）

試験者 大西 康夫

5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		目標粒度	粒度範囲
	作図法	修正後		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5				
19	100.0	100.0	100.0	100
13.2	99.6	99.6	97.5	95 ~ 100
9.5				
4.75	63.5	66.8	62.5	55 ~ 70
2.36	42.9	46.5	42.5	35 ~ 50
1.18				
600 μm	25.0	27.5	24.0	18 ~ 30
300	16.9	18.8	15.5	10 ~ 21
150	8.2	7.9	11.0	6 ~ 16
75	6.8	6.4	6.0	4 ~ 8

6. 粒径加積曲線図



理論最大密度計算表

目的 配合設計

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 密粒度アスコン(13)改質Ⅱ型(ECOフォームト)

試験者 大西 康夫

①	②	③			④	⑤
骨材の種類	配合率(%)	骨材の密度(g/cm ³)			計算に用いる密度	②/④
		表	乾	かさ		
碎石6号	34.0	2.682	2.662	2.717	2.717	12.514
碎石7号	19.0	2.674	2.648	2.718	2.718	6.990
砕砂	20.0	2.646	2.602	2.722	2.722	7.348
粗砂	10.0	2.592	2.556	2.651	2.651	3.772
細砂	12.0	2.589	2.545	2.661	2.661	4.510
石粉	5.0			2.710	2.710	1.845
Σ②=	100.0				Σ⑤=	36.979

⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
アスファルト量(%)	アスファルトの密度	⑥/⑦	$\frac{\Sigma⑤(100-⑥)}{100}$	⑧+⑨	理論最大密度 100/⑩
4.5	1.034	4.352	35.315	39.667	2.521
5.0		4.836	35.130	39.966	2.502
5.5		5.319	34.945	40.264	2.484
6.0		5.803	34.760	40.563	2.465
6.5		6.286	34.575	40.861	2.447
5.6		5.416	34.908	40.324	2.480

マ ー シ ャ ル 安 定 度 試 験

目 的 配 合 設 計 (室内)

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 密粒度アスコン (13) 改質Ⅱ型(ECOフォームト)

試験者 大西 康夫

アスファルトの種類 ポリマー改質アスファルトⅡ型 アスファルトの密度 (A) 1.034 アスファルトの温度 180 ℃ 骨材の温度 200 ℃

突 固 め 温 度 160 ℃ 突 固 め 回 数 50 回 力計の係数 (B) 0.1187

供試体条件	供試体番号	① アスファルト量%	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	安定 フ ロ ー 値 (kN/m)			
			供試体寸法					空 中 質 量 (g)	水 中 質 量 (g)	表 乾 質 量 (g)	容 積 (cm ³)	密 度		ア ス フ ア ル ト 積 (%)	空 隙 率 (%)	骨 材 間 隙 率 (%)	飽 和 度 (%)	安定度		フ ロ ー 値 1/100 cm				
												かさ	理論					力 計 の 読 み	安定 度 (kN)					
			厚さ (c m)									⑦－⑧	⑦／⑩									①×⑩ (A)	①－⑩/⑩ ×100	⑬＋⑭
			1	2	3	4	平均					⑨－⑧	⑦／⑩					①×⑩ (A)	①－⑩/⑩ ×100			⑬＋⑭	⑬/⑯×100	(B)×⑰
標準	1	4.5					6.31	1220.0	701.9	1221.0	519.1	2.350						89	10.56	28				
	2						6.26	1222.6	705.8	1223.6	517.8	2.361						88	10.45	26				
	3						6.32	1222.7	702.5	1223.7	521.2	2.346						86	10.21	30				
	平均											2.352	2.521	10.2	6.7	16.9	60.4		10.41	28	3718			
標準	4	5.0					6.34	1228.4	708.6	1229.1	520.5	2.360						95	11.28	30				
	5						6.42	1229.5	710.7	1230.1	519.4	2.367						88	10.45	31				
	6						6.40	1229.2	713.6	1229.9	516.3	2.381						92	10.92	28				
	平均											2.369	2.502	11.5	5.3	16.8	68.5		10.88	30	3627			
標準	7	5.5					6.36	1235.0	717.9	1235.3	517.4	2.387						93	11.04	33				
	8						6.34	1232.4	715.4	1232.8	517.4	2.382						97	11.51	36				
	9						6.26	1234.7	714.0	1235.0	521.0	2.370						92	10.92	31				
	平均											2.380	2.484	12.7	4.2	16.9	75.1		11.16	33	3382			
標準	10	6.0					6.35	1241.0	717.6	1241.2	523.6	2.370						93	11.04	39				
	11						6.27	1239.3	721.0	1239.5	518.5	2.390						88	10.45	39				
	12						6.30	1240.7	720.2	1240.8	520.6	2.383						96	11.40	39				
	平均											2.381	2.465	13.8	3.4	17.2	80.2		10.96	39	2810			
標準	13	6.5					6.26	1247.8	721.0	1247.9	526.9	2.368						85	10.09	43				
	14						6.34	1247.2	725.6	1247.3	521.7	2.391						82	9.73	45				
	15						6.45	1246.9	722.7	1247.0	524.3	2.378						87	10.33	45				
	平均											2.379	2.447	15.0	2.8	17.8	84.3		10.05	44	2284			

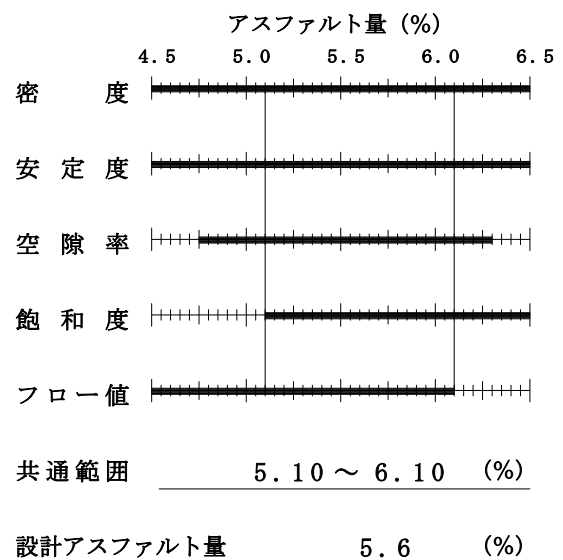
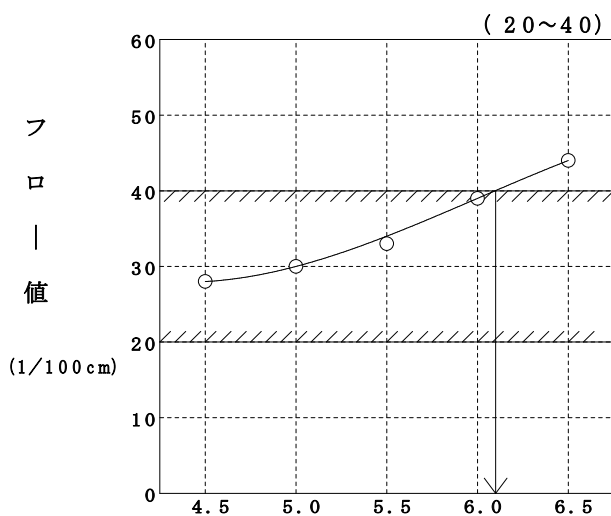
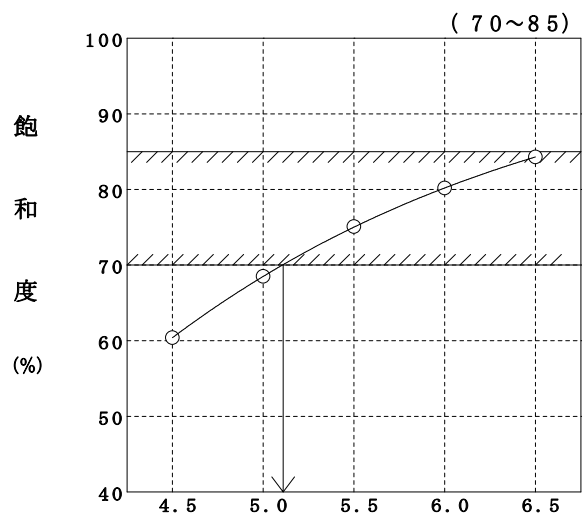
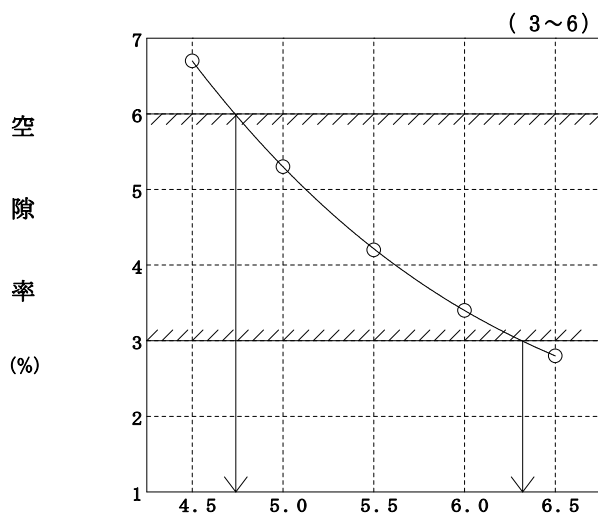
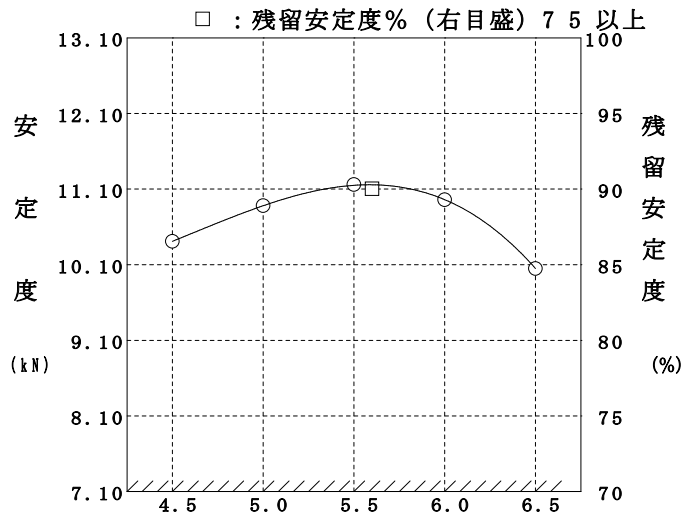
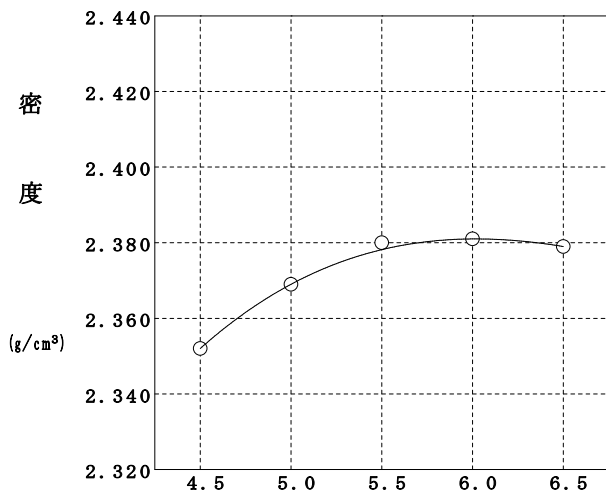
設計アスファルト量の決定

目的 配合設計 (室内)

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 密粒度アスコン (13) 改質Ⅱ型 (EC0フォームト)

試験者 大西 康夫



殘留安定度試験

目的 配合設計（殘留）

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 密粒度アスコン (13) 改質Ⅱ型 (EC07フォームト)

試 験 者 大西 康夫

アスファルトの種類 ポリマー改質アスファルトⅡ型 アスファルトの密度 (A) 1.034 アスファルトの温度 180 ℃ 骨材の温度 200 ℃

突 固 め 温 度 160 ℃ 突 固 め 回 数 50 回 力 計 の 係 数 (B) 0.1187

[illegible]

ホットビン粒度設計（修正後）

目 的 配 合 設 計 (現 場)

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 密粒度アスコン (13) 改質Ⅱ型 (EC07フォームト[®])

試 験 者 大西 康夫

3. 使用予定骨材の合成粒度 修正後

骨 材		1 ビン	2 ビン	3 ビン	回収ダスト	石粉			
配 合 率 A %		41.0	22.0	30.0	2.0	5.0			
通 過 質 量 百 分 率 B %	53 mm								
	37.5								
	31.5								
	26.5								
	19			100.0					
	13.2		100.0	99.2					
	9.5								
	4.75	100.0	85.1	0.2					
	2.36	96.0	0.5						
	1.18								
	600 μm	47.1			100.0				
	300	26.5			98.9	100.0			
	150	3.8			87.5	98.1			
75	1.5			70.8	88.4				

各骨材のふり目の大きさ別配合率 (A) × (B)								合 成	設 計
53 mm									
37.5									
31.5									
26.5									
19			30.0					100.0	100.0
13.2		22.0	29.8					99.8	99.6
9.5									
4.75	41.0	18.7	0.1					66.8	66.8
2.36	39.4	0.1						46.5	46.5
1.18									
600 μm	19.3			2.0				26.3	27.5
300	10.9			2.0	5.0			17.9	18.8
150	1.6			1.8	4.9			8.3	7.9
75	0.6			1.4	4.4			6.4	6.4

4. 骨材の密度による配合率の補正

[illegible]

ホットビンの粒径加積曲線図

目 的 配 合 設 計 (現 場)

試験年月日 2025年 2月14日

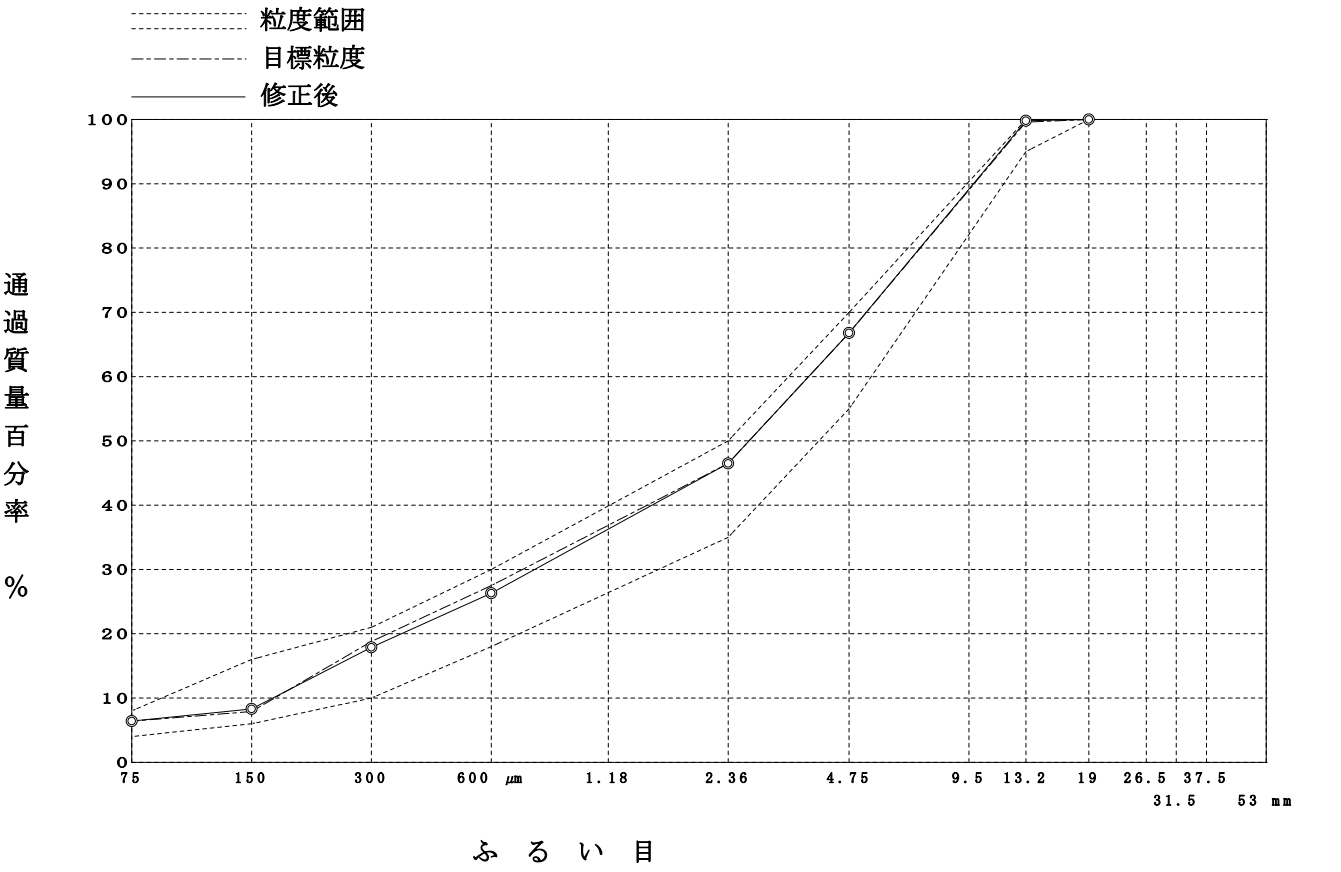
混合物の種類 密粒度アスコン(13)改質Ⅱ型(ECOフォームト)

試 験 者 大西 康夫

5. 合成粒度

ふるい目	合 成 粒 度		目 標 粒 度	粒 度 範 囲
	作 図 法	修 正 後		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5				
19	100.0	100.0	100.0	100
13.2	99.8	99.8	99.6	95 ~ 100
9.5				
4.75	67.5	66.8	66.8	55 ~ 70
2.36	45.7	46.5	46.5	35 ~ 50
1.18				
600 μm	28.0	26.3	27.5	18 ~ 30
300	20.4	17.9	18.8	10 ~ 21
150	11.7	8.3	7.9	6 ~ 16
75	9.5	6.4	6.4	4 ~ 8

6. 粒径加積曲線図



理 論 最 大 密 度 計 算 表

目的配合設計

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 密粒度アスコン (13) 改質Ⅱ型 (EC07フォームト[®])

試験者 大西 康夫

①	②	③			④	⑤
骨 材 の 種 類	配合率(%)	骨 材 の 密 度 (g/cm ³)			計算に用いる密度	②／④
		表 乾	か さ	見 掛		
碎石6 号	34.0	2.682	2.662	2.717	2.717	12.514
碎石7 号	19.0	2.674	2.648	2.718	2.718	6.990
砕砂	20.0	2.646	2.602	2.722	2.722	7.348
粗砂	10.0	2.592	2.556	2.651	2.651	3.772
細砂	12.0	2.589	2.545	2.661	2.661	4.510
石粉	5.0			2.710	2.710	1.845
Σ②＝	100.0				Σ⑤＝	36.979

[illegible]

マ ー シ ャ ル 安 定 度 試 験

目 的 配 合 設 計 (現 場)

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 密粒度アスコン (13) 改質Ⅱ型 (EC07フォームト[®])

試 験 者 大西 康夫

アスファルトの種類	ポリマー改質アスファルトⅡ型	アスファルトの密度 (A)	1.034	アスファルトの温度	180	℃	骨材の温度	200	℃
-----------	----------------	---------------	-------	-----------	-----	---	-------	-----	---

突 固 め 温 度	160	℃	突 固 め 回 数	50	回	力計の係数 (B)	0.1187
-----------	-----	---	-----------	----	---	-----------	--------

[illegible]

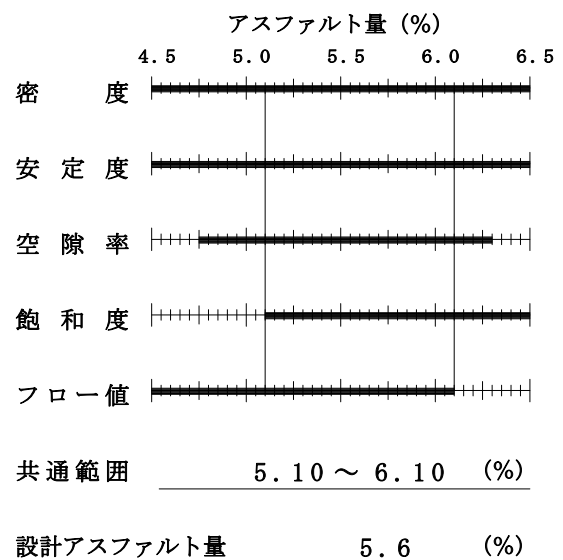
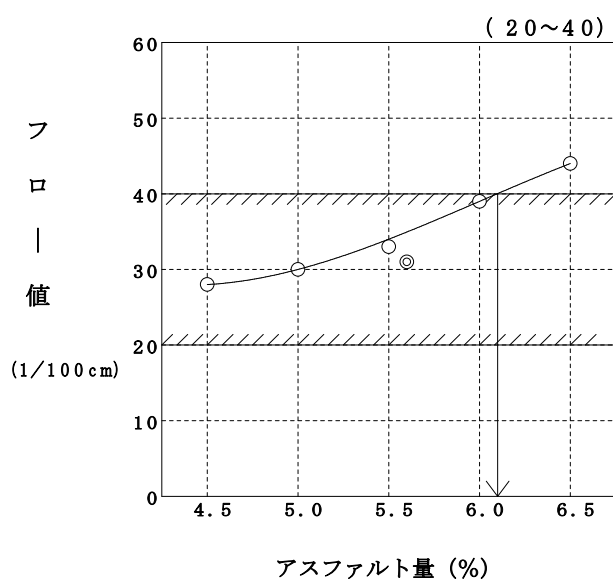
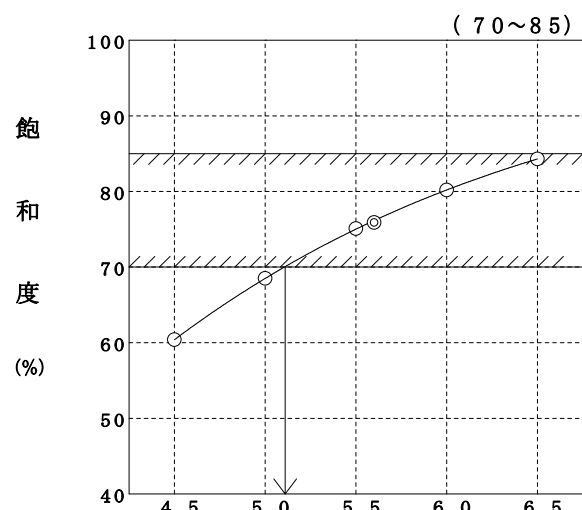
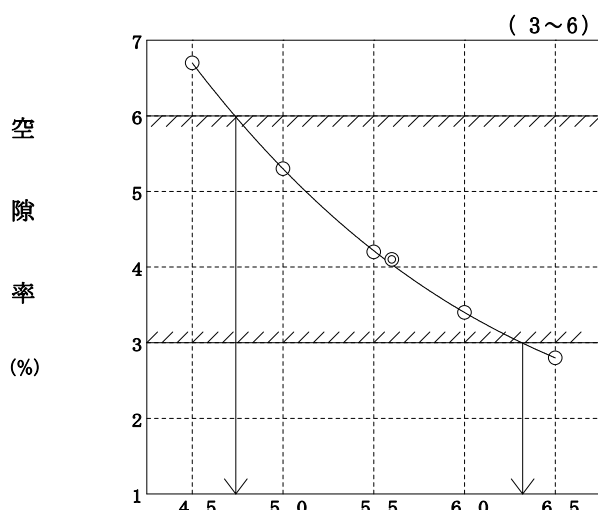
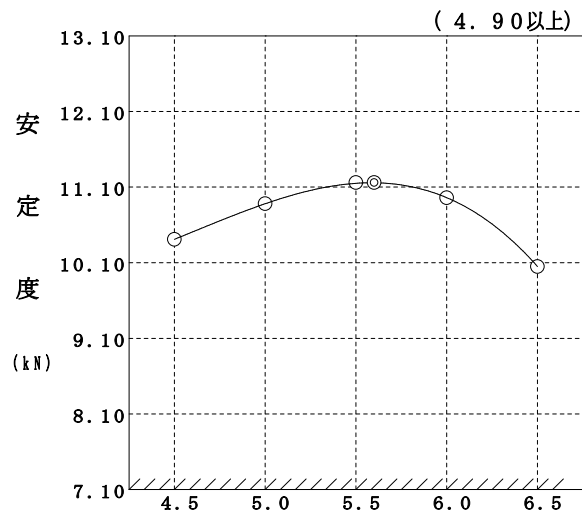
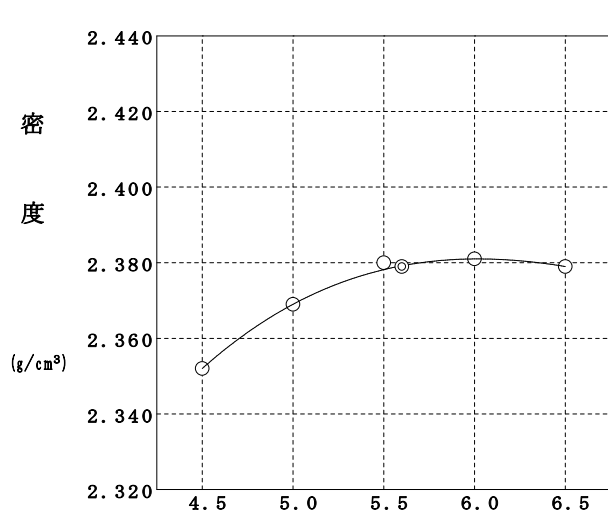
マ ー シ ャ ル 安 定 度 試 験

目 的 配 合 設 計 (現 場)

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 密粒度アスコン (13) 改質Ⅱ型(ECOフォームト)

試験者 大西 康夫



現場 マーシャル安定度試験（中温化）

目 的 配 合 設 計 （現場 中温化）

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 密粒度アスコン（13）改質Ⅱ型（EC0フォーマット）

試験者 大西 康夫

アスファルトの種類 ポリマー改質アスファルトⅡ型

アスファルトの密度 (A) 1.034 アスファルトの温度 180℃

骨材の温度 200℃

突固め温度 —℃

突固め回数 50回

力計の係数 (B) 0.1187kN

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
		突固め温度 (℃)	供試体平均厚 (cm)	空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	容積 (cc)	密度 (g/cm³)	理論 (g/cm³)	ア容スファルト積 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	力計の読み	安定度 (kN)	フロ―値 1/100 cm	安定度／フロ― (kN/m)
標準	1		6.38	1233.4	719.1	1233.9	514.8	2.396		①×⑦ (A)		⑨+⑩	⑨/⑩×100		(B)×⑬		
	2	160	6.33	1233.3	715.3	1233.8	518.5	2.379						99	11.75	33	
	3		6.31	1233.7	719.4	1234.1	514.7	2.397						99	11.75	32	
	As量 5.6													97	11.51	31	
	平均							2.391	2.480	12.9	3.6	16.5	78.2		11.67	32	3647
標準	4		6.34	1232.4	713.1	1232.9	519.8	2.371						98	11.63	32	
	5	150	6.37	1232.0	717.0	1232.5	515.5	2.390						94	11.16	31	
	6		6.30	1234.0	718.2	1234.5	516.3	2.390						99	11.75	29	
	As量 5.6																
	平均							2.384	2.480	12.9	3.9	16.8	76.8		11.51	31	3713
標準	7		6.36	1232.6	715.2	1233.1	517.9	2.380						94	11.16	32	
	8	140	6.33	1231.1	715.0	1231.6	516.6	2.383						98	11.63	30	
	9		6.36	1233.8	714.1	1234.3	520.2	2.372						92	10.92	30	
	As量 5.6																
	平均							2.378	2.480	12.9	4.1	17.0	75.9		11.24	31	3626
標準	10		6.34	1232.0	713.2	1232.6	519.4	2.372						91	10.80	32	
	11	130	6.36	1231.1	708.5	1231.5	523.0	2.354						87	10.33	29	
	12		6.39	1234.0	714.1	1234.6	520.5	2.371						93	11.04	29	
	As量 5.6																
	平均							2.366	2.480	12.8	4.6	17.4	73.6		10.72	30	3573
	平均																

$$\textcircled{10} = (1 - \textcircled{7} / \textcircled{8}) \times 100$$

現場 混合物の突固め温度下限値の確認

目 的 配 合 設 計 (現場 中温化)

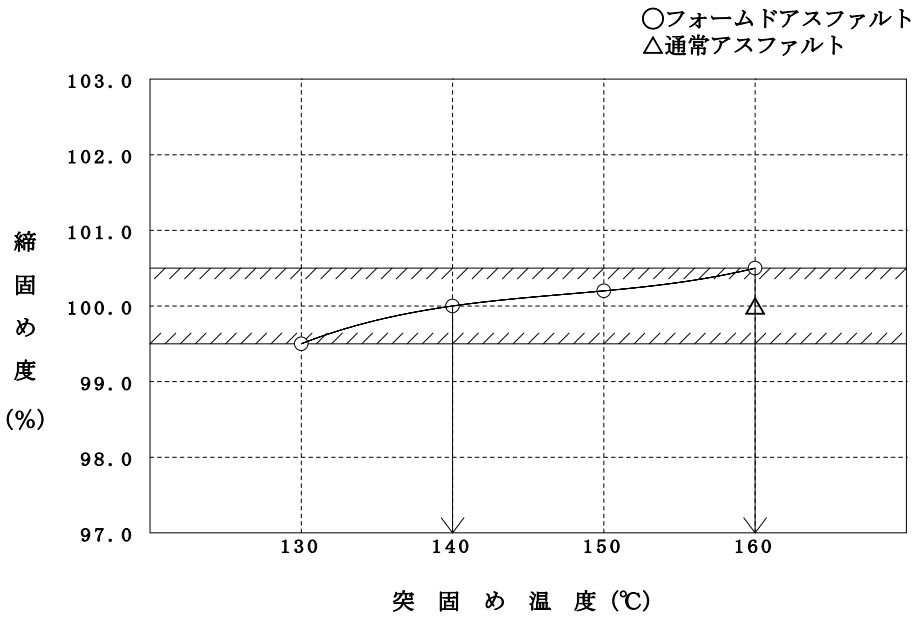
試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 密粒度アスコン (13) 改質Ⅱ型 (ECOフォームト)

試 験 者 大西 康夫

フォームドアスファルト使用時の混合物にて、突固め温度を変化させた供試体密度を測定し、
締固め度から突固め温度下限値を決定するとともに、混合物性状確認を行う。
締固め度は、フォームドアスファルト未使用の通常アスファルト時に決定した突固め温度で
作製した供試体の密度を基準密度とする。

項目				理論密度 (g/cm³)	密度 (g/cm³)	空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	フロー値 (1/100cm)	締固め度 (%)
中温化	突固め温度	As量	規格	—	—	3～6	70～85	4.90以上	20～40	—
未使用	160℃	5.6%		2.480	2.379	4.1	75.9	11.16	31	100.0
使用	160℃			2.480	2.391	3.6	78.2	11.67	32	100.5
使用	150℃			2.480	2.384	3.9	76.8	11.51	31	100.2
使用	140℃			2.480	2.378	4.1	75.9	11.24	31	100.0
使用	130℃			2.480	2.366	4.6	73.6	10.72	30	99.5



グラフより、
締固め度100.0%が得られる突固め温度は140℃となった。
締固め度99.5%～100.5%が得られる突固め温度は130℃～160℃となった。

現場 突固め下限温度でのマーシャル安定度試験

目 的 配 合 設 計 (現場 突固め下限温度)

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 密粒度アスコン (13) 改質Ⅱ型(ECOフォームト)

試験者 大西 康夫

アスファルトの種類 ポリマー改質アスファルトⅡ型

アスファルトの密度 (A) 1.034

アスファルトの温度 160℃

骨材の温度 180℃

突固め温度 140℃

突固め回数 50回

力計の係数 (B) 0.1187kN

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
		アスファルト量 (%)	供試体平均厚 (cm)	空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	容積 (cc)	密度 (g/cm³)	理論 (g/cm³)	アスファルト積 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	安定度 (kN)	フロー値 1/100 cm	安定度/フロー (kN/m)
							⑤-④	③/⑥		①×⑦ (A)		⑨+⑩	⑪/⑫×100		(B)×⑭		
標準	1	5.6	6.32	1232.8	714.7	1233.3	518.6	2.377						96	11.40	31	
	2		6.41	1230.4	714.4	1230.9	516.5	2.382						92	10.92	30	
	3		6.41	1230.1	712.6	1230.5	517.9	2.375						91	10.80	32	
	平均							2.378	2.480	12.9	4.1	17.0	75.9		11.04	31	3561
	平均																
	平均																
	平均																

⑩ = (1 - ⑦/⑧) × 100

現場配合の決定

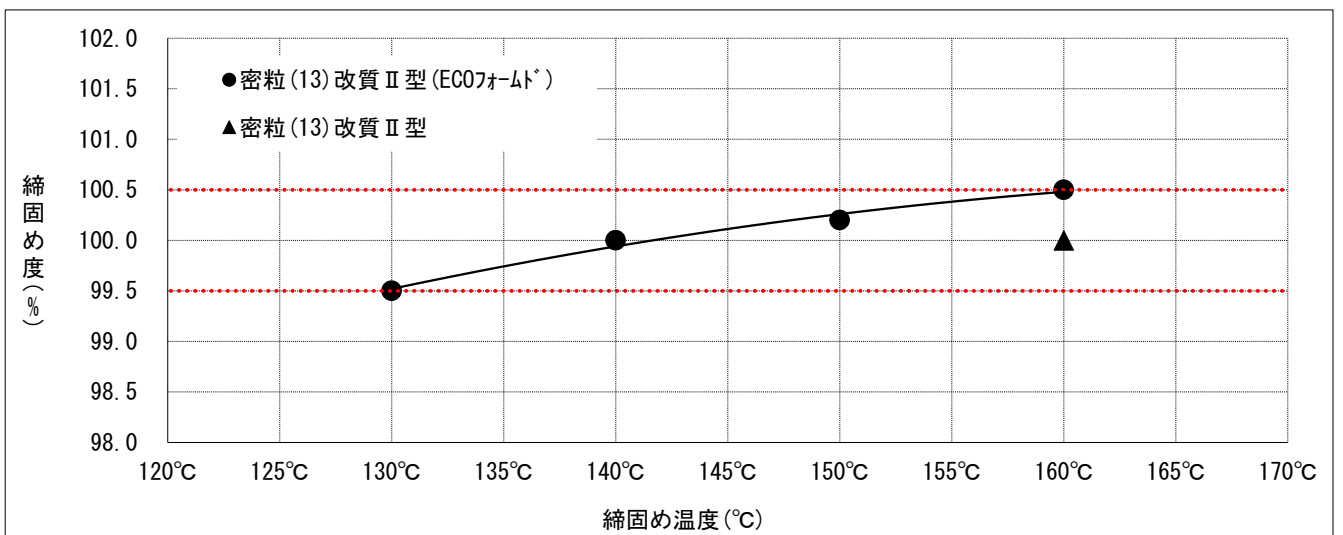
目 的 配 合 設 計			試験年月日 2025年 2月14日		
混合物の種類 密粒度アスコン (13) 改質Ⅱ型(E C O フォームト [®])			試 験 者 大西 康夫		

1バッチ 1000 kg					
	骨 材 配 合 比(%)	設計アスファルト量 (%)	プラント配合比(%)	1バッチ質量 (kg)	骨材累加質量 (kg)
1	ビ ン	41.0		387	387
2	ビ ン	22.0		208	595
3	ビ ン	30.0		283	878
回 収 ダ ス ト	2.0		1.9	19	19
石 粉	5.0		4.7	47	47
ア ス フ ァ ル ト		5.6	5.6	56	56
合 計	100.0		100.0	1000	1000

フォームド混合物の温度管理目標値一覧

混合物の締固め特性

項目	規格値	混合物の種類				
		密粒(13)改質Ⅱ型	密粒(13)改質Ⅱ型(EC07フォームト [®])			
締固め温度	℃	160℃	160℃	150℃	140℃	130℃
密度	g/cm ³	2.379	2.391	2.384	2.378	2.366
締固め度	%	100.0	100.5	100.2	100.0	99.5
空隙	%	4.1	3.6	3.9	4.1	4.6
安定度	kN	11.16	11.67	11.51	11.24	10.72
フロー	1/100cm	31	32	31	31	30



温度管理目標値

	低 減 温 度	℃	0	10	20	30
夏季	出 荷 温 度	℃	180±10	170±10	160±10	150±10
	敷 均 温 度	℃	160以上	150以上	140以上	130以上
	初 期 転 圧 温 度	℃	160±10	150±10	140±10	130±10
冬季	出 荷 温 度	℃	180±10	170±10	160±10	150±10
	敷 均 温 度	℃	160以上	150以上	140以上	130以上
	初 期 転 圧 温 度	℃	160±10	150±10	140±10	130±10

※上記の温度管理目標値につきましては、当プラントの推奨する温度であり、規格値ではありませんのでご注意ください。
 ※現場条件（現場までの距離・施工方法・気象条件）等が異なるため、温度範囲につきましては、所定の締固め度が得られる範囲内で、各現場毎に検討して下さい。

舗装試験法便覧				ホイールトラッキング試験				報告用紙			
調査名・目的				測定年月日				2025 年 2 月 14 日			
混合物の種類				密粒度アスコン(13)改質Ⅱ型 (ECO7フォーム [®])							
バインダー量		改質AsⅡ型:		5.6%		試験者		尾田 崇馬			
走行方式				クランク式・チェーン式		タイヤゴム硬度		78±2			
載荷荷重		686N		載荷方法		垂直式・空気圧式・その他					
供試体の種類				現場切取・現場作製・室内作製		室内養生		12時間			
供試体の寸法				長さ300 幅300 厚さ50 (mm)		走行回数		(A) 42回/分			
試験温度		60℃		養生時間		6時間		試験時間 60分 (B) 基準密度 2.379 g/cm ³			
供試体番号				1		2		3		平均	
供試体作製	① 供試体質量 (g)					10821		10714		10818	
	② 水中質量 (g)					—		—		—	
	③ 供試体体積 (cm ³)					4500		4500		4500	
	④ 供試体密度 (g/cm ³)			①/③		2.405		2.381		2.404	
	⑤ 締固め度 (%)			④/(B)*100		101.1		100.1		101.1	
ホイールトラッキング試験	走行時間 (分)	0	変形量 (mm)	⑥ d 0							
		5		⑦ d 5							
		10		⑧ d 10							
		15		⑨ d 15							
		30		⑩ d 30							
		45		⑪ d 45	1.71		1.34				
		60		⑫ d 60	1.85		1.48				
	⑬ 変形量の差 (mm)			⑫-⑪		0.14		0.14		⑭ 0.14	
	⑮ D S (回/mm)			(A)*15/⑬		4500		4500		4200	
	⑯ 平均D S (回/mm)			(A)*15/⑭						⑰ 4500	
	⑱ 平均値との差の平方			(⑰-⑮) ²		0		0		90000	
	⑲ 標準偏差			$\sqrt{(\sum ⑱)/(n-1)}$		—		—		—	
	変動係数 (%)			⑲/⑰*100		—		—		—	
	圧密変形量 d o (mm)			⑪*4-⑫*3		1.29		0.92		0.90	
時間—変形量曲線の形状				1 上凸型 2 直線型 3 変曲型							
備考											